
撲殺人間？青鬼くん

イカロスX

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

撲殺人間？青鬼くん

【Nコード】

N7104T

【作者名】

イカロスX

【あらすじ】

この青鬼は、館からきた青鬼なのか、それとも、ほかの場所から来たのか？この真相は・・・また今度

青鬼くん参上!!

ある中学生4人が、山の奥にある館へ肝試しにでかけました

その4人とは、「ひろし」「卓郎」「美香」「たけし」だ

この物語はその肝試し後の10日間がすぎたその後の物語である・

夕焼(仮) 中学校の放課後、肝試しをした4人が集まりました

(卓) あの青い気持ち悪い物体は何なんだ

(ひ) あの生き物は何だったんでしょねえ?ていうか生き物な
んですか?あれ

(美) でも怖かったわゝ運よくダミーで乗り切ったんだけど

(た) 食い殺されかけたんだよねあゝ

ひろしは何回食われても、セーブした場所からまた始められるんだ
もんなあゝ

(卓・美・た) ……ひろしめちゃせこいよ!!!

(ひ) なぜか攻められちゃいましたねえ

(?) はゝい こんにちは

(卓) 誰だ!!

(青) 青鬼くんです

(4人) ぎゃーーーーーーーーーーーー逃げろーーーーーーーー

(青) 待ってーーーーーーーー どんな世界にこんな最悪な登場の仕方があるんだよーーーーーーーー

せめて「ひろし」君だけでも待ってーーーーーーーー

(ひ) しかない、待ってあげましょう

(青) ありがとうー

(効) ぐちゃあ

(青) あっ……

(卓) ひろしが殺された……

くっ…… 逃げろ

(青) ごめんなさい

今直すから待って

ピルピルピルピルピル(ド○ロちゃん風)

(効) キラキラリン

(ひ) ころすなあ~~~~!!!!

後、なんでド○口ちゃんが出るの!!!!

(青) じゃあ、今度改造しとくね

こうしてひろしの家になぜか青鬼くんが居候することになりました

あと、あの3人は、逃げましたw

ひろしと青鬼くんが同居していることを、あの3人は、まだ知らない・・・

青鬼くん参上!!! (後書き)

どもイカロスXです

早くも2作目入りました

基本的には放課後の話になってます

登場人物書きまゝ

ひろし〓 (ひ)

卓郎〓 (卓)

美香〓 (美)

たけし〓 (た)

青鬼くん〓 (青)

先生〓 (先)

4人の親は館に行つて、青鬼に食い殺されたつて設定にします
どうかよろしく

ひろしと青鬼くんの生活（前書き）

はい 2話です・・・

さんねっ

ひろしと青鬼くんの生活

(ひ) 青鬼くん

(青) 何？

(ひ) 近い 彼氏と彼女見たいな距離になってるから。

(青) いいじゃん、別に

(ひ) 10mくらい離れて

(青) 何で2話目からそんな仕打ち受けんだよ

(ひ) キモいから(きつぱり)

(青) たった五文字できつぱり言われた~~~~orz

くそ〜死ね〜

(効) パーン

ぶしゅ~~~~~

(青) あ〜ごめん

「プリンアラモード喰いで~~~~~」

(効) きゅぴ~~~~~ん

(ひ) なんだよ 悪口言ったくらいで〜

後、なんだよ「プリンアラモード喰いて〜〜〜〜〜〜」って？

呪文の唱え方おかしすぎ

(効) ど〜ん

ぶしゅ〜〜〜〜〜

(青) あ〜ごめん

「プリンアラモード喰いて〜〜〜〜〜〜」

(効) きゅぴ〜〜〜ん

(ひ) もうなんだよちょっと来い(珍しくひろしが命令口調)

5分後 　〜ひろしの家〜 ひろし

(ひ) もうなんだよ 何で殺されなきゃいけないの？

特に、2回目は何なんだよ〜

(青) 2回目は、マジで「プリンアラモード」喰いたかったから

(ひ) ねえ、逃げていい？夜逃げしていい？

(青) ダメに決まっ

(効) たったったった

(青) にげられた~~~~~orz

待つてよ~~~~~

唱え方変えるからさ~~

(ひ) そんなことじゃねえよ

まず殺すな、そして・・・

そのキモい顔何とかしろ

(青) が~~~~orz

(卓) おっ、ようひろし~~

(ひ) 助けて~~

ストーカーが追いかけてくる~~

(卓) ストーカー？

(青) 待つて~~

(卓) ぎいあ~~~~~

なんでこんなもん連れてくんだよ~~~~

(ひ) 仕方ないですよ(敬語に戻った)同居してんだから

(卓) へっ?マジ?それ?

(ひ) はい、そうですね・・・

(卓) ……ひいゝろおゝしい!!!!!!!!!!!!

(ひ) な、なんですか?

(卓) 後で覚えとけよおゝゝゝゝゝゝ

(ひ) ……と、とにかく逃げましょう

(卓) こんなやつと暮らすな

これからごうしよう!

4人で暮らそう!!!!

(ひ) でもあいつ、なぜか魔法使えますよ?

(卓) ……あいつと住もう

(ひ) 嘘でしょ

(美) あっ、ひろしゝ卓郎

(卓) 美香!明日からたけしとこの3人+追いかけてくるやつと

暮らすぞ

（美） へっ？追っかけてくる奴って・・・ぎゃ～～～～～～～～～～

（青） 待ってえ～～～～

（た） おっ、ひろし、卓郎、みぎゃ～～～～～～～～

（美） 私の名前の時に叫ばないでよ～～

後で覚えときなさい たけし

（た） うそ～～～～

（卓） ひろし、あいつの名前は？

（ひ） 「青鬼くん」だけど

（卓） おーい、青鬼くんとまってくれ

（青） 何で？

（卓） 俺たちと暮らさしてやるからさ

後、俺たちが止まれば、あんたの勢いで俺たちが死ぬ

（青） わかった

（効） きい～～～～

どす〜ん

ぷしゅ〜〜〜

(青) あ〜ごめん

「プリンアラモード喰いて〜〜〜」

(効) きゅぴ〜〜〜ん

(たけし・卓郎・美香) なんだよ その唱え方〜〜〜

(ひ) 何なんだよマジで。

(青) orz

4人+青の物体が暮らすことになりました

それにしても青鬼くんはどんな生き物なんでしょう？

ひろしと青鬼くんの生活（後書き）

どうもイカロスXです

なんかちよつと・・・へこんでます

あとがきのくらくらいたせいで下さい

4人のチームと青鬼くんのピンチ！（前書き）

3話目です

どうぞ

4人のチームと青鬼くんのピンチ！

4人+1人？と一緒に暮らすことになりました

(卓) 俺、あることを考えたんだ

(ひ・た・美) なになに？

(卓) ふっふっふ その考えとは・・・

(ひ・た・美) うんうん

(卓) ……チームを作る!!!

(ひ) え〜〜 青鬼くんが着てから敬語をあまり使うことがなくなりました

(た・美) いいかも〜

(ひ) うそ〜

(卓) はい、2：1で決定〜!!!

(ひ) orz

(青) みんなあ〜

(4人) 着ちゃったよ

(青2) ふん わかった、もう邪魔はしねえ

(青) 本当か!?

(青2) ただし、死んでもらう

(青) くっ、やっぱりか・・・

「プリンアラモード喰いてえ〜〜」!!!!

(青2) 何だその呪文の唱え方w
呪文ってのはな、こうするもんだ!
・・・はっ!!!!!!

(効) ドカ〜ン

(青) うわ〜

(効) ドドドドドドドドド〜ン

(青) うう〜

(青2) ふっ、ひでえ様だ!!

さて、この町を、壊滅させるか・・・

館の青鬼たちは「世界の制圧」が目的のようだ
ひろしたちは逃げてばかりでいいのか?
さあチームで青鬼たちを撃滅せよ!!!!

4人のチームと青鬼くんのピンチ！（後書き）

どうもイカロスXです

さてこれもファンタジー化しないことを祈りましょう！

そしてこれを後に完結して、新小説作りしたいと思います
ではこれからもよろしくう

青鬼戦争 パート1 (前書き)

久しぶりの更新です
どうぞ

青鬼戦争 パート1

館の青鬼が来て、3週間が過ぎた・・・

(街) 逃げる～～～

青鬼の軍団だあ～～～～～～～～

(青2) ブルー・ザ・ビーム

(効) ドカ～～～ン

(街) うわあ～～～～

(卓) なっなんだ!?

(効) ドカ～～

ドドドドドドドドドド～～～～～～

(青2) ふはははははは

我が子分どもよあ～俺に続けえ～

(館青全) おお～

(ひ) ふああ～～～もうなんなんだよ

妙に外が騒がしいなあ～

(卓) 「騒がしいなあ～」「じゃないよ!!!

外大変ことになってるよ!?

(ひ)どねどね・・・どわあ~~~~~

(卓) だろ？

(ひ) 「だろ？」じゃねえよ!!!
なんでそんなことなってるんだよ
それよりたけしと美香は!?

(卓) まだ寝てる

(ひ) あいつらほんと鈍感だなあ

(た) ふああ

(効) どどどどどどど

(た) なななななんだあ!?!?

(ひ・卓) やつと起きたか

(た) 「やつと起きたか」じゃねえよ!!!
何だ!!!今の音!?

(ひ) 窓の外見ても

(た) う、うん・・・ぎゃあ~~~~~
お前らなんでそんな落ち着いてられるんだよ!!!

(卓) 俺たち只今作戦会議中!!!

(館青) 1〜5(ぎゃ)す

(卓) とりあえず兵器を買おう

(ひ) うん、そうだな、それが一番先決だね

(た) なんか「バイオ○ガード」みたいになってるような・・・

(卓・ひ) 気のせいだ

(た) 何、一人前に星つけてんだよ

(卓) よし、どうやら兵器や、自衛官を派遣してくれるようだ

(た) 無視すんな!

(美) あっ、そついや青鬼くんは?

(た) そついや〜・・・

(ひ) まあ〜いいんじゃないの?

(効) ガチャ

バタ

(青) みんな、ここから逃げて、館の青鬼がこっちに向かっている

(卓) なに!?

(効) ブウウウウ~~~~ン

(美) あっ、軍事ヘリよ

(卓) 自衛官たち、銃とか落としてください

(自) こんなことになっては仕方がないな
街の皆さん、聞いてください
青鬼がこの街に迫っています

(街) ザワザワ

(自) ですので、中学生以上の方は、銃などの兵器を持ってください
兵器などは、各家に、ダンボールにつめて落とします

(卓) リーダーは俺でいいよな？

(た・美・ひ) うん

(卓) 美香、お前は、避難の援助を頼む
そして、たけし、お前は、避難の援助の手伝いをしてくれ、兵器を
持って……

(た) ああ

(卓) そして、俺と、ひろしは青鬼を殺しまくる
……では解散

青鬼たちがなぜかこの街に奇襲を仕掛けてきた
青鬼くんはどうなるんだろうか……

次回新キャラ登場！？

青鬼戦争 パート1 (後書き)

どうもイカロスXです

新しい表示です・・・どうぞ

街の人 (街)

自衛隊 (自)

館の青鬼 (館青)

館の青鬼全員 (館青全)

青鬼戦争 パート2 (前書き)

ちよつとマイペースに行かせて頂いてます
・・・ぽろぽろ

青鬼戦争 パート2

(自) みなさん、聞いてください

今から兵器が詰まったダンボールを落としますので拾ってください
ダンボール落下3秒前・2・1
おらあ〜さっさと拾いやがれえ〜

(卓・ひ) 「落下」「投下」だああああ

(ひ) あっ、こんなところに鋼鉄のバット“エス○リボ○グ”が落ちてる

(卓) えっ、まっまさか

(ひ) お前ら一回降りて来い

(効) ビューン

(卓) ちょちょちょよっつと〜

(自) ぎゃあ〜

なんでエス○リボ○グが落ちてんの〜

(卓) よし、俺が求めてたのはそれだ・・・

(自) どういうこと？

(卓) ナイス！ノリツッコミ！！(キッパリ)

(効) ドスッ

(自) ぎゃあ〜す

(自) なんでノリツツコミを狙ってたの!?

(卓) だって・・・

この漫画でノリツツコミが見たかったんだもん!!!

(自) それだけの理由で!?

(ひ) ていうかこれ漫画じゃねえよ〜

(卓) ナイス!ノリツツコミ!!!

(効) ヒューン

(卓) おつとあぶねえ

(効) パーン

(自) ぎゃあ〜

(ひ) あっ

やっちゃった・・・てへ(ペコ)

(卓) 「てへ」「じゃねえよ

もつ自衛官なんてどうでもいい

兵器もってさっさと青鬼殺すぞ〜

っっひっひっひっひっひ

(ひ) あいつ壊れた

一方、美香とたけしは・・・

(た) あ、兵器が・・・投下されたあゝ
美香ゝ

(美) 皆さん、早く逃げてください
青鬼ではなくダンボールに殺されますよゝ

(た) お前、何言ってるのぉおぉゝゝゝ!?

(街) ダ、ダンボールに殺されるのはいやだゝ

(た) 意外と聞いたww
それより、兵器は？

・・・あった。よし、これで住民を守る 守るぞって言おうとしたが

(青2) 「ブルー・ザ・ビーム」!!!!

(効) ドドドドドドーン

(た) ぎゃあゝ

(美) たけし!

(た) 俺にかまうな、住民を早く避難させる!!!!

(美) うん、わかった

(た) 青鬼めえよくもやったなあ〜手榴弾連発してやる!!!

(青2) や、やべ

(た) おらおらおらおらおらおらおら〜!

(効) かんかんかん
ド〜ンド〜ンド〜ン

(青2) あいつあぶねえ

時は戻ってひろしと卓郎は・・・

(ひ) は〜仕方がない、単独行動し 単独行動しよつかと言おうと
している

(効) パンパンパンパンパンパンパンパンパン — 応銃声

(館青) (ぎゃ〜

逃げろ〜〜

(館青) あいつなんか変だあ〜〜!!!

(ひ) あいつ、

おお〜い、館の方攻めたら意味ないだろうが〜

(卓) ウキ?

わかったよ

手榴弾投げまくって青鬼たちを一掃するか

(効) ボオオオオ~~~~

(ひ・卓) あちちちちちちち~~~~

(卓) か、髪の毛が燃える~~~~

(ひ) そんなことどうでもいいわ!!
それより……

青鬼く〜ん、「エス〇リボ〇グ」をこっちに投げてきてえ〜

(青) OK!!!!

(効) ビュ〜ン

(卓) 声届いたのかよ!!!!

(効) ヒュ〜ン
ガシッ

(ひ) これさえあれば「鬼に金棒」だ!!!!

(卓) 何か「鬼に金棒」使い方、間違つてなくない?

(ひ) ちょっと後でお話しようか?

(卓) ……何も言ってますん

(ひ) うおるあ~~~~

(効) ブンッ

(青2) おっとあぶねえ

(ひ) くそ〜すげこっしこせ すげこっしこせしめや!!!
いる

(卓) あぴゃぴゃぴゃ〜

(効) ドドドドドドドドドドドドドドドド

(ひ・青2) ぎゃ〜

(ひ) また壊れた〜

(美) たけし

(た) おお、美香か、

(美) 住民の避難は完了したわ

(た) わかった、でもここに来ない方がいいと思う

(美) なんで?

(た) 知りたいなら来れば?

(美) う、うん

さて、卓郎君はこの話で、2回も壊れましたね
実は、卓郎君兵器を見ると壊れて兵器をぶっ放すんです
では次回まで

青鬼戦争 パート2 (後書き)

どうもイカロスXです

この物語を次の話で終わらせたいと思います
ほかのお話もよろしくです

青鬼戦争 パート3 FINAL(前書き)

メツチャ久しぶりの投稿です><

青鬼戦争 パート3 FINAL

(美)・・・

(卓)あぴゃぴゃぴゃ

(効)ドドドドド

(た)な、来ない方がいいだろ

(美)う、うん

(卓)あぴゃぴゃぴゃ

(効)ヒュン

(た・美)えっ？

(効)ドカーン

(た・美)ぎゃあ~~~~~す

(卓)あひゃひゃひゃ

うん??
たけしと・・・

あんた誰？

(美)あんだと~~~~~(怒)
卓郎~~~~~

(効) ボコボコボコボコ

(卓) ぎゃあ〜〜何何何、ちょっと待って、なんで美香怒ってんの？ 元に戻った

(た) そらそうなるだろ

(卓) へっ？

(た) お前、美香に「あんた誰？」って言ったからなw
まさか、覚えてないの？

(卓) うん、ていうか、俺が美香に言うわけないじゃん、そんなこと・・・

(そんなこと言ったらボコられるからな〜) 心の声

(美) まあいいわ、ってひろしは？

(た) そういや、ここで館の青鬼と戦ってたんだけど・・・

一方、ひろしは・・・

(効) ドカ〜ン

(青2・ひ) くっ！

(青2) なかなかやるな

(ひ) はあはあ、お前こそ

(青2) ふっふっふ、ならばこれならどうだ!?!?!
「天地爆破」!?!?!!

(効) ドドドドドド

(ひ) な、なんだ!?

(効) バキバキバキ ドカッ

(卓) な、なんだ!?

北の方が、行くぞ!?!?!

(美・た) おう!

↓1分後↓

(効) たっ たっ た

(卓) あっ!

(美) あっ!?!

(た) あっ!?!!

3人が見たものは、ひろしが倒れている姿だった

(た) ひ、ひろしにこんなことしたのは誰だ!

(卓) 怖がりすぎ、しかもここまでする奴は館の青鬼くらいしかい

(た・美・青2)ぎゃ~~~~

(青2)話の途中に弾ぶつ放すなくそこのくそ武器が!

(効)カキーン 武器を蹴った音

(卓)は!ここどこ、私は誰?

(青2)ボケるな

(青)見つけたぜ!我が友よ!!!ここであつたが1000年目、覚悟!!!

「青鬼ビーム」!!!!

(青2)ありゃ?

(効)ドカ〜ン

(青2・美・卓・た)ぎゃあ~~~~

(卓・た)俺たちまで巻き込むな!!!
ぐは!

(効)バタツ

(青)あ、ごめん

「プリンアラモード喰いて〜!!!!!!!」

(効) キュイ〜ン

(た) とにかく、館の青鬼、覚悟しろ

(青2) 俺には一応「太郎」って名前あるんだからそれで呼べ〜〜

(卓) そうなの？

(青2) う、うん・・・

「ブルービーム」！！

(卓) あっ

(効) ドカ〜ン

(卓) ぎゃ〜

(青2) まず一人

(ひ) おりゃ！！！！

(効) ヒューン

(青2) バ、バズーカ〜！？

(効) ドカ〜ン

(青2) ぎゃあ〜〜〜

不意打ちすんな！！！！

こんにゃろ！！

(効) バキ

(ひ) うわ

(卓) 大丈夫か？ひろし！って生きてたのかよ

(青2) この野郎〜こうなったらこの地球ごと破壊してやら〜〜

(卓) な

(美) な

(た) な

(ひ) な

(ひ・美・卓・た) なんだって〜〜〜

(青2) 「宇宙破滅砲」!!!!!!

はあ〜〜〜

(青) くそ、この野郎〜!!!!!!

(効) バキ

(青2) ぐは!!

(効) ヒュイ〜ン

(青2) くそ、それなら、一騎打ちだ!!!

(青) ああ、のぞむところだ!!!!!!

(青・青2) おりゃあ~~~~

(効) バキ ドカ バキ ドカ

〜10分後〜

(青) はあはあ

(青2) はあはあ

(青) 腕を上げたなあ

(青2) お前こそ

(青) なら、これで俺たちの戦いに終止符をつけようぜ

(青2) ああ

(青・青2) 「青き死の鉄拳」!!!!

(効) ドド~~~~~ン

(青・青2) くっ

(青2) おりゃ

(効) ドーン

(青) うわ~~~~

(ひ) 青鬼くん!!!
青鬼くん大丈夫か!?

(青) はあはあ

(ひ) くそ

(卓) やべえ、来るぞ!!!

(青2) ふははははははは
これでこの地球はおしまいだ!!!
「宇宙破滅砲」!!!

(効) キュイーン
ピュン

(青) まずい!!!
は!!!

(効) ドーン

(青) くっ!!!
は~~~~

(ひ・美・卓・た) あ、青鬼くん!!!

(青) とりゃ〜

青鬼くんは「太郎」に「宇宙破滅砲」を投げ飛ばした

(青2) うわぁ〜〜〜

「太郎」は、消滅した

「宇宙破滅砲」は触れたものを消滅させる

では、なぜ「太郎」は地面に打たなかったのだろう？

そう！それは、「太郎」があほだからです！！！！

(ひ) 青鬼くん、大丈夫か！？

(青) 僕はもう1分しか持たない

ひろしたちが僕と出会って唯一逃げなかったのが「ひろし」
ありがとう

ほかのみんなも、僕と付き合い合ってくれてありがとう
楽しかった

(ひ) ちょっと待て、まさか！？

(青) ああ、「宇宙破滅砲」は触れたものを消滅させる恐ろしい技だ

(ひ) そ、そんなのいやだよ

(青) ひろし、中学生だろ、泣くな

そろそろお迎えの時間だな

みんな、ありがとう

そして、さようなら

(美) 青鬼くん!!!!

(た) 青鬼くん!!!!!!

(卓) 青鬼くん!!!!!!

(ひ) 青鬼く~~~~ん!!!!!!

(効) さゝ 消滅する音

(ひ) 青鬼くん、君のことは、一生忘れないよ

そして、10年後、ひろしは美香と結婚し、政治家になり、美香は、女優になり

卓郎は傭兵となり、たけしは二トになった

青鬼の館は青鬼戦争の5年後に消滅し、ひろしと美香の豪邸となった

これで、この物語はおしまいだ

青鬼戦争 パート3 FINAL(後書き)

どうも、イカロスXです
メツチャ久しぶりですorz
詳しい話は活動報告で・・・
青鬼くん、終わりました
最後は感動的？でしたね
では、ほかの小説もよろしく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7104t/>

撲殺人間？青鬼くん

2011年10月9日05時08分発行